

OB会STAFF 会長 白田高久でございます。

このたびの大震災、大津波、原発事故その他の影響により、被災された方々皆さまへお見舞い申し上げますとともに、これからの復興を祈念するばかりでございます。

OB会では、「お見舞金」「義援金」を募ることといたしました。対象は、“被災された会員”です。

義援金口座は下記アドレスに掲載しております。

※閲覧には当OB会より通知済みのパスワードが必要です。

<http://bbalumni.lar.jp/secured/info/obmesse/kouzagien.pdf>

では、この趣旨をご説明させていただきます。

早くしろ！との声も複数寄せられております、一方素朴なる声もございます。

Q. 災害の義援金について。対象は被災された会員さんへのことですが、今からとりあえず義援金を募っておく、ということでしょうか？

A. はい。行政の支援体制、現地のインフラ、今後の復興状況を見極めて、そして対象の方々のニーズに応じて、．．とも思っておりましたが、それがいつになるかはまったく読めません。

世の義援金活動が活発なる今この時から行動を起こさねば、機を逸してしまうおそれがあります。その時に備えて、今から行動を興そうということです。

Q. どの方に、何のために、というのは長い目で見ていかないとわからないものですよね？
義援金がたくさん集まったとして、誰にどこまでの支援に充てよう、というようなものはこれから決めていくのですよね。

A. その通りです。あらかじめ、その後のシナリオは描けておりません。とはいえ、趣旨の通りの用途は言うまでもありません。趣旨とは、被災された会員の生活復興に際して、OB会から支援金あるいは支援物資をお送りすることです。

Q. そんなにたくさん集まるのか．．と言われればそれまでですがささやかな手助けならできそうな．．

A. お志であり、お気持ちですから。

もちろん、一口あたり〇〇円などとの指定はございません。

Q. 赤十字など、いろいろと募金をしています、それは顔も名前も知らない被災された方や土地の復興を願って、という意志からです。OB会による、被災された会員さんのための義援金というのは、一般の義援金とは違うので. . .
ポンっと赤十字に募金して自由に使ってください、というのとは違ってくるような気がして少し不安です。

A. 会員個々のスタンスを合わせる、あるいはベクトルを同じくする、これは土台無理な話かと存じます。
部活において目標に向かってベクトルを合わせるのとはわけが違います。

あくまでも任意であって、義援金を送る先やルートはあまたございますが、OB会を介して、被災された会員へピンポイントで支援するルートを選んでいただけますか？とする選択肢であります。

Q. 震災という大事なのは重々承知しております。
でも、こういうことでOB会から義援金がくるのなら、自分はどうしてももらえないんだ？と思う方が出てくるかもしれません。

被災関係なく、今までも苦しい生活を送っている会員さんがいらっしゃるかもしれません。

顔が見えるメリットと不安、気にしすぎかもしれませんが. . .

A. 仰ることは理解いたします。
ただ、やはり天災地変という要素から、普段とは異なるとの見解です。

以上、不安を吐露される声もございます。

ただ、やらないでいるよりはやってみてから後悔(?)や試行錯誤していくほうが良いと思うので、賛成です。と言っていました。
始める前に、少しの不安を伝えさせてもらいました、とのことあります。

今回、被災されたことがはっきりしている会員がいらっしゃり、そして、自助努力では叶わない側面も窺えることがございます。

OB会として、何ができるかは未知数ながらも、なにもせずに静観することは、OB会を束ねる立場として忍びなく、複数の会員の声をいただき、ごく短い期間ながらもスタッフのレスポンスを受け、そして後押しを受けて敢行することといたします。

このミッションが始動し、その後の舵取りは難しいとの思いはございます。
756名を数えるこの組織、何かができることを信じて！信じることだけです。

被災された会員を知る者ほど、思い入れが大きいことは勿論のことでしょう。

今回、皆さまへお願いするわけではございません。

ただ、繰り返しとはなりますが、あまたある義援金ルートではございますが、
青学大部活OB会ルートも選択肢に加えていただけるよう設定いたしました。

期待する効果は、唯一、被災された会員のご支援へ充てるということです。

この趣旨へご賛同いただける会員 部員 その他ご家族の方々は、
上記アドレス掲載のOB会口座へお送りください。

以上、

ご理解いただけますことを切望し、趣旨ご賛同いただければ幸甚に存じます。

平成23年3月29日
青山学院大学学友会吹奏楽バトントワリング部
OB会STAFF 会長 白田 高久